

令和4年度 第1回 追分小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年4月27日（水） 13時30分から15時10分まで
- 2 開催場所 浜松市立追分小学校 会議室
- 3 出席委員 松田 勝、小山 正博、大澤 一夫、大原 いずみ、松本 依子、河村 進
今泉 るり子
- 4 欠席委員 内山 丈夫
- 5 学 校 坪井 百合子（校長）、高木 康泰（教頭）、佐野 尚也（CS担当）
山田 公子（CSディレクター）
- 6 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 7 傍聴者 なし
- 8 協議事項
（1）会長の選出及び副会長の指名について
（2）議長の選出について
（3）追分小学校運営基本方針について
（4）夢育やらまいか事業に対する意見書について
- 9 会議録作成者 CSディレクター 山田 公子
- 10 会議記録

司会の高木教頭から、委員総数8人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）会長の選出及び副会長の指名について

司会から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、大澤委員から松田委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。また、その後、会長に選任された松田委員から、松本委員を副会長に指名する旨の報告があった。

（2）議長の選出について

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、教頭から会長を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

（3）追分小学校運営基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

（大澤委員）追分小校区には住民は多いが、学校が選択できるため、近隣の他校への流入に伴い児童数が少ない。より多くの児童に通ってもらうためにも、多くの人の意見を聞き、解決策を模索することが協議会で大切なのではないかと。

（大原委員）同一地区に居住していても他校に通う児童もあり、地域の児童との関わりにギャ

ップを感じることもある。CSにおける地域と学校という関わりの方向性はどのようにしていくべきか。

(今泉委員) 地域探検や学習活動「おいわけ」を通じて地域とのつながりを増やすことで、必然的に関わりが増えるのではないか。

(松本委員) 地域の歴史や、商店街について学ぶ地域探検で発見があると、子供たちに地域や追分小学校の魅力をアピールできる。また、そうした活動を通じて顔見知りになることで、追分小学校が目標としている挨拶の向上が、校内だけでなく地域にも広がるのではないか。

(小山委員) 児童が遊ぶ近隣公園では、地域の方が自発的に草取りなど美化活動をして下さっている。児童がそういったことを知ることで、お礼を伝えるなど積極的なコミュニケーションに繋がるのではないか。

(河村委員) 児童数が少ない学校ではあるが、学校活動の中で他学年との交流が活発なため、コミュニケーション能力が身につけているように感じる。

(松田議長) 子供が気付かないことも、大人が伝えることで意識の中に意図的に残すなど、関わり方の分野を掘り下げることが大切ではないか。またアイデアをたくさん出すことで学校も動きやすくなり、子供たちは地域の中で知らないことを知ることができる。

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。また、現在の実情や課題を共有した。

(4) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

議長の指示により、教頭から、別紙資料に基づき学校に必要な支援について説明があり、委員から、以下の発言があった。

(小山委員) 地域との繋がりはもちろん大切ではあるが、地域との関わりに力を入れることで、教員にとっては本来の教科指導以外の負担が増えてしまうのではないか。

(教頭) 既に取り組んでいる総合の授業の中で、地域素材を活用した学習の場を設け、講師の方に指導をしていただいていた。学校の知らない素材を教えていただくなど、助けていただきたい。

(校長) 学校からのお願いだけでなく、地域からもアイデアなど声を掛けていただく事を御協力賜りたい→CS活動の重要性

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

その他報告事項等

司会から、次回会議は、2022年6月27日(月)午後1時30分から追分小学校会議室で開催する旨の報告があった。